

株式会社ユニカフエ(東証一部:2597) 平成26年3月期 決算説明資料

自 平成25年4月1日
至 平成26年3月31日



- I. 外部環境 3
- II. 平成26年3月期 決算概況 7
- III. 平成26年3月期 決算詳細 11
- IV. 平成27年3月期 事業計画 15



I. 外部環境



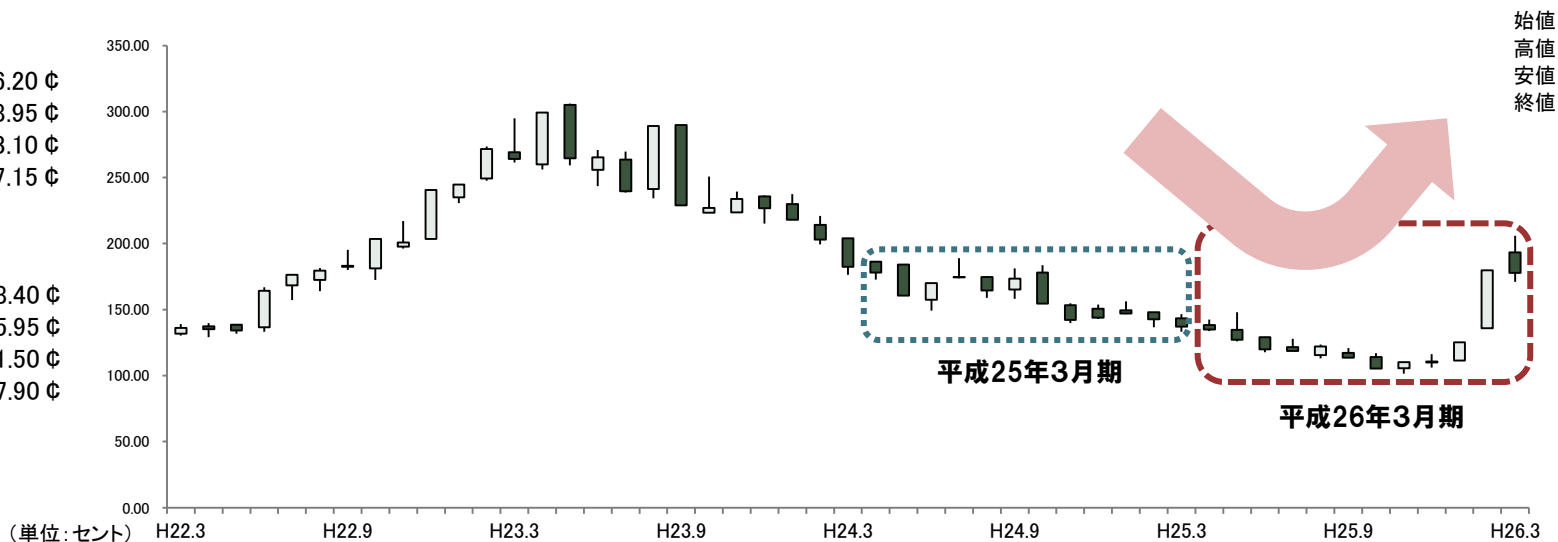
NYコーヒー相場(¢/ポンド)

●平成25年3月期

始値 186.20 ¢
 高値 188.95 ¢
 安値 133.10 ¢
 終値 137.15 ¢

●平成26年3月期

始値 138.40 ¢
 高値 205.95 ¢
 安値 101.50 ¢
 終値 177.90 ¢



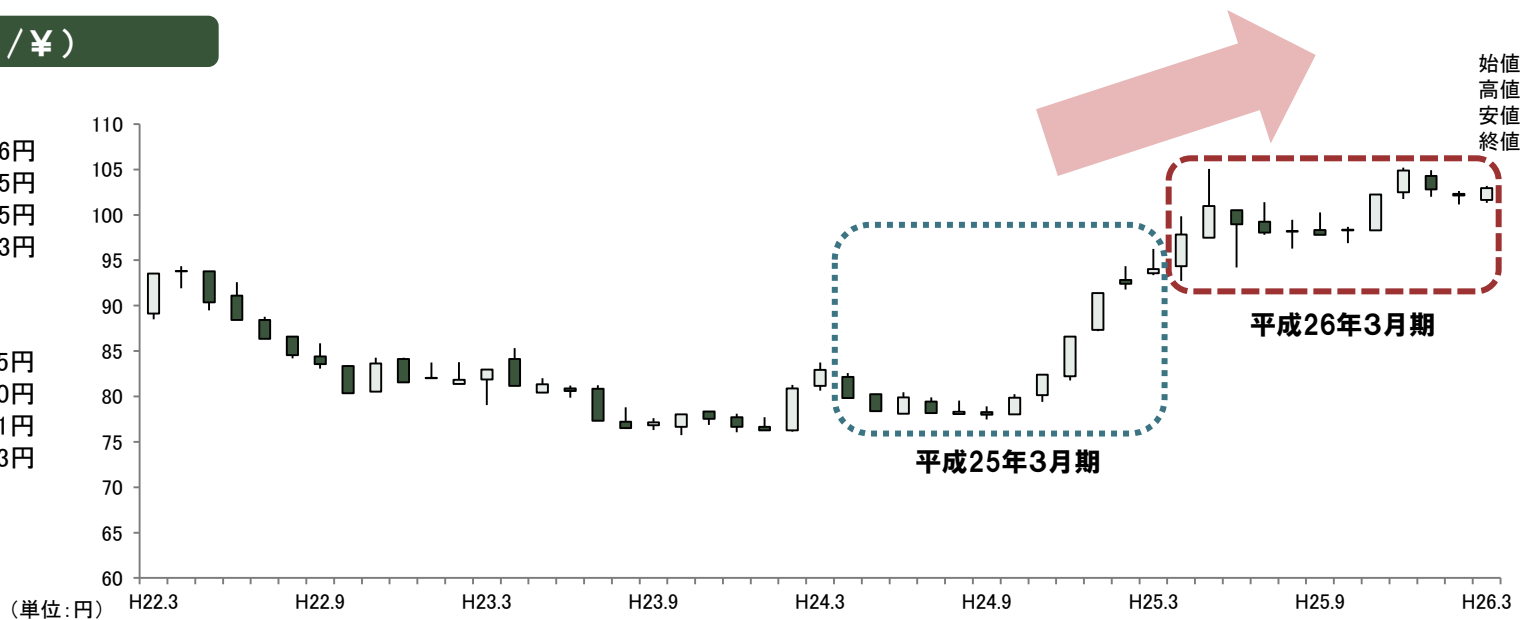
為替相場(\$/¥)

●平成25年3月期

始値 82.16円
 高値 96.25円
 安値 77.45円
 終値 94.03円

●平成26年3月期

始値 94.35円
 高値 105.20円
 安値 92.71円
 終値 102.93円



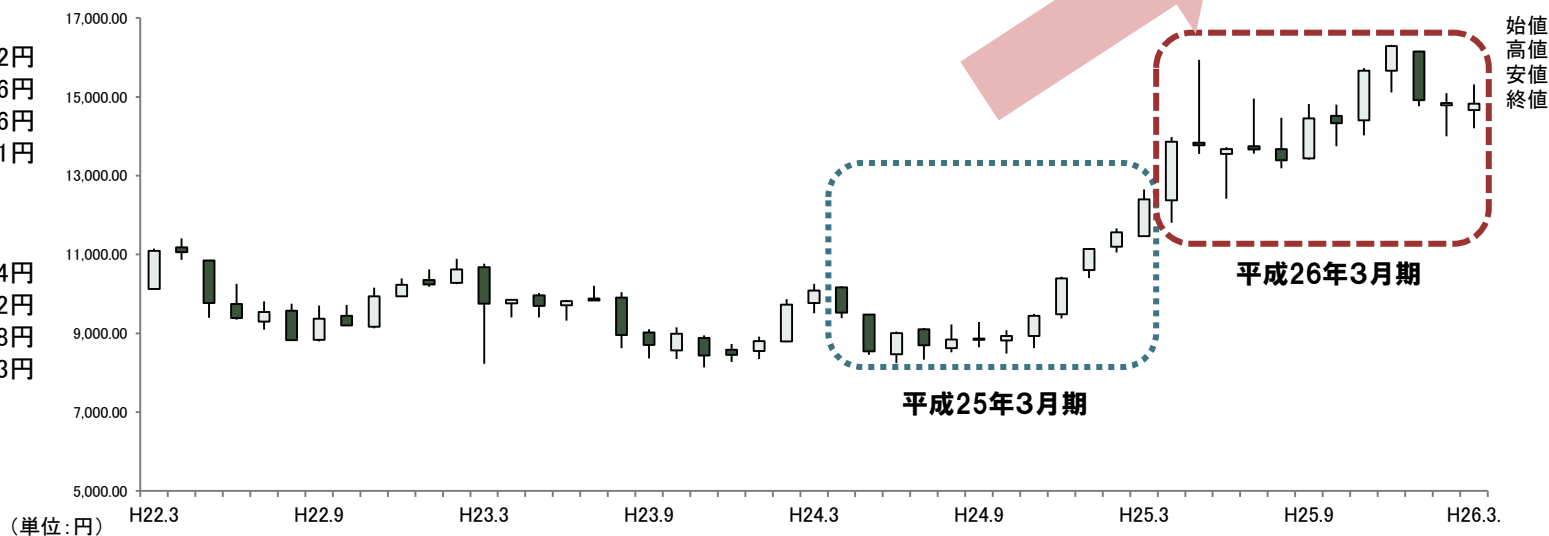
日経平均

●平成25年3月期

始値 10,161.72円
 高値 12,650.26円
 安値 8,238.96円
 終値 12,397.91円

●平成26年3月期

始値 12,371.34円
 高値 16,320.22円
 安値 11,805.78円
 終値 14,827.83円



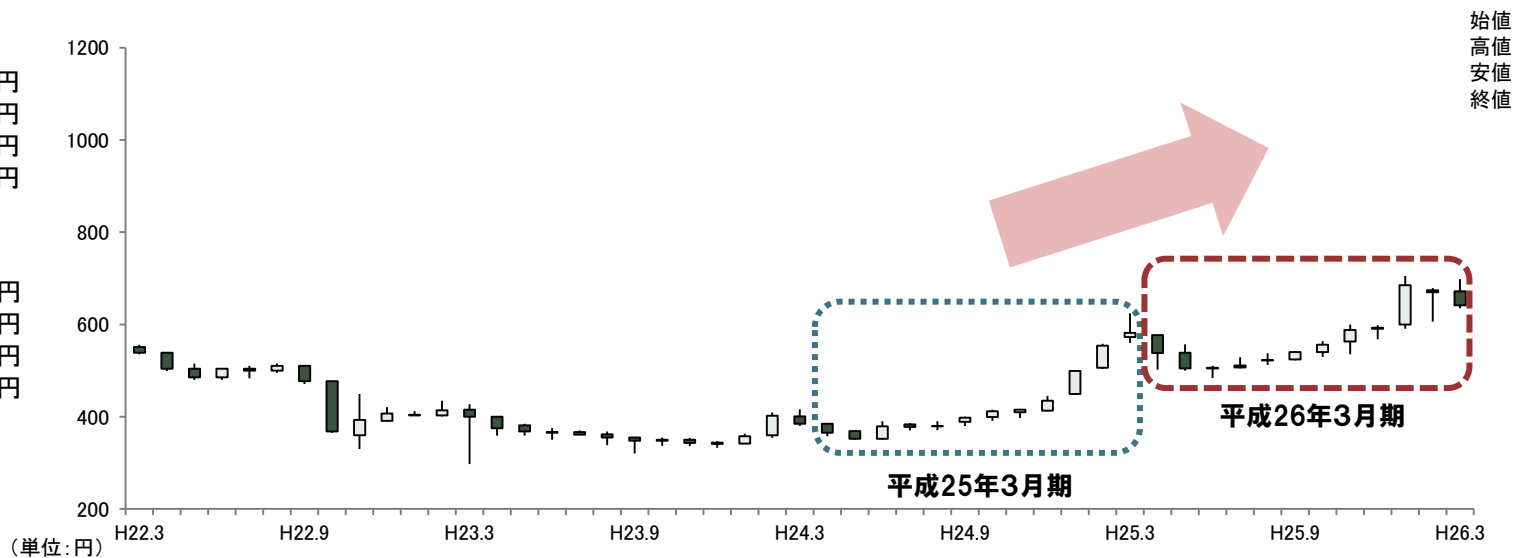
ユニカフェ

●平成25年3月期

始値 385円
 高値 624円
 安値 350円
 終値 582円

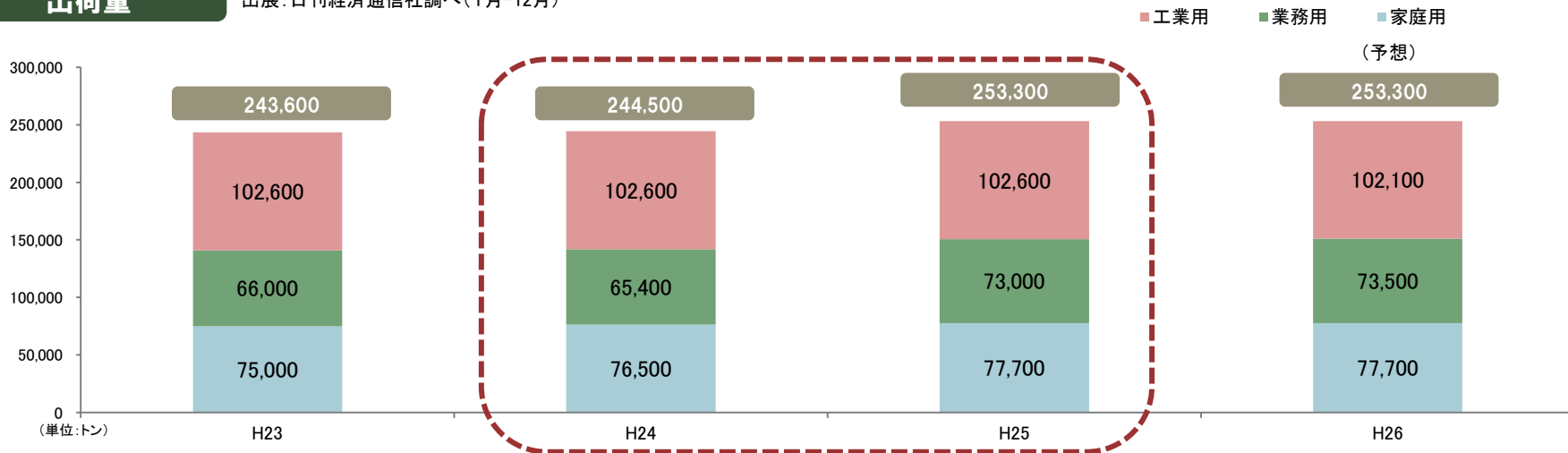
●平成26年3月期

始値 577円
 高値 698円
 安値 484円
 終値 641円



出荷量

出展: 日刊経済通信社調べ(1月-12月)



販売金額

出展: 日刊経済通信社調べ(1月-12月)



平成24年と平成25年の市場動向対比(当社調べ)

- 工業用 出荷量: 横ばい 販売金額: 3.0ポイント低下 1kgあたり販売金額: 492円⇒ 478円
- 業務用 出荷量: 11.6ポイント上昇 販売金額: 6.2ポイント上昇 1kgあたり販売金額: 1,988円⇒1,890円
- 家庭用 出荷量: 1.6ポイント上昇 販売金額: 2.9ポイント低下 1kgあたり販売金額: 1,830円⇒1,750円



II. 平成26年3月期 決算概況



(単位:千円)

		平成25年3月期	平成26年3月期	増減額	増減率
資産の部	流動資産	5,289,680	4,873,487	△416,192	△7.9%
	固定資産	5,464,241	5,303,653	△160,588	△3.0%
資産合計		10,753,922	10,177,140	△576,781	△5.4%
負債の部	流動負債	4,392,961	3,040,125	△1,352,835	△30.8%
	固定負債	49,738	74,450	24,711	49.7%
	負債合計	4,442,699	3,114,575	△1,328,123	△29.9%
純資産の部	株主資本	6,290,319	6,907,317	616,998	9.8%
	その他の 包括利益累計額合計	20,903	155,246	134,343	642.7%
	純資産合計	6,311,222	7,062,564	751,341	11.9%
負債純資産合計		10,753,922	10,177,140	△576,781	△5.4%

●資産の部

- ・現金及び預金が1億57百万円増加
- ・受取手形及び売掛金が5億57百万円減少
- ・固定資産が1億60百万円減少

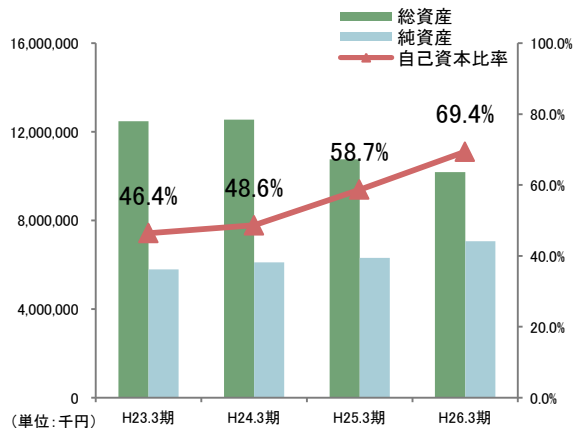
●負債の部

- ・支払手形及び買掛金が15億95百万円減少
- ・固定負債が24百万円増加

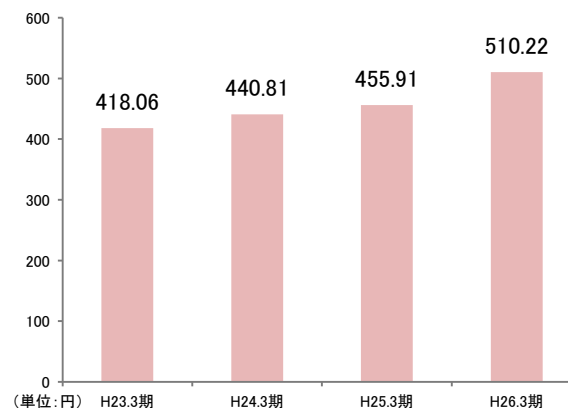
●純資産の部

- ・利益剰余金が6億17百万円増加
- ・自己資本比率が10.7ポイント上昇

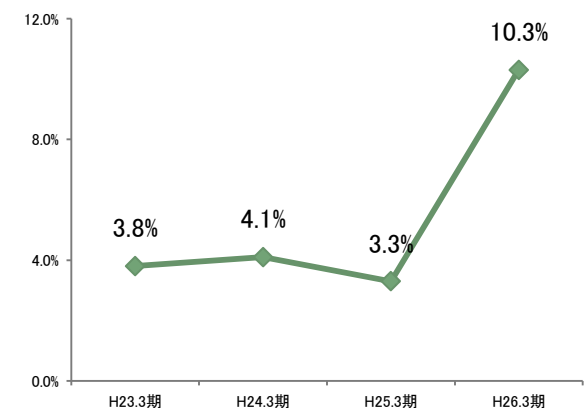
自己資本比率



1株当たり純資産



自己資本当期利益率(ROE)



※平成23年3月期は決算期変更により6ヶ月決算となっております。

(単位:千円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		増減額	増減率
		売上比		売上比		
売上高	15,580,117	100.0%	11,731,219	100.0%	△3,848,897	△24.7%
売上原価	13,582,090	87.2%	9,404,227	80.2%	△4,177,863	△30.8%
売上総利益	1,998,026	12.8%	2,326,992	19.8%	328,965	16.5%
販売費及び一般管理費	1,663,701	10.7%	1,586,241	13.5%	△77,460	△4.7%
営業利益	334,325	2.1%	740,751	6.3%	406,426	121.6%
経常利益	256,907	1.6%	803,992	6.9%	547,085	213.0%
当期純利益	207,286	1.3%	686,696	5.9%	479,409	231.3%

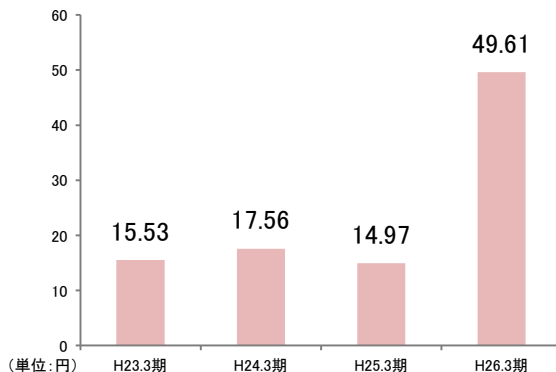
●売上高

- ・コーヒー生豆相場が前年に比べ低い水準で推移したことに伴う販売価格の低下
- ・前連結会計年度の期中より一部の取引先において、原材料のコーヒー生豆が支給されることとなったため、その売上高が加工賃相当額に減額
- ・前期比24.7%減

●営業利益

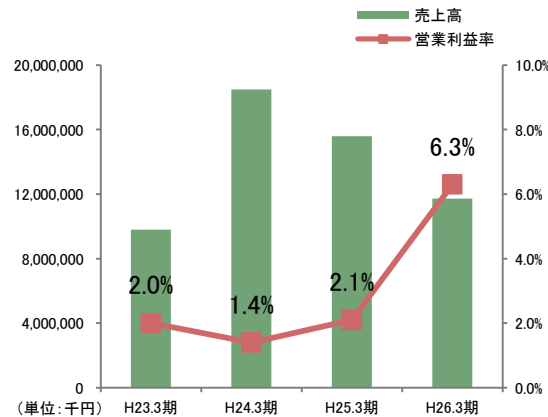
- ・高付加価値製品の販売が好調
- ・取扱数量増加に伴う生産工程の効率化
- ・販売費及び一般管理費を抑制
- ・前期比121.6%増

一株当たり当期純利益

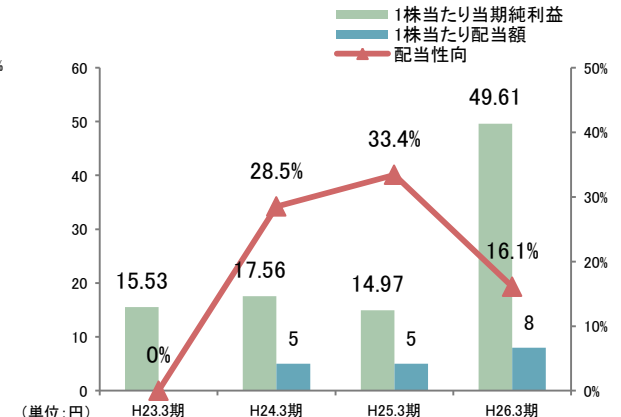


※平成23年3月期は決算期変更により6ヶ月決算となっております。

営業利益率



配当性向



(単位:千円)

	平成25年3月期	平成26年3月期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	1,069,050	△37,391	△1,106,441
投資活動による キャッシュ・フロー	△34,779	255,570	290,350
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,019,779	△78,068	941,710
現金及び現金同等物に 係る換算差額	6,628	16,966	10,337
現金及び現金同等物の 増減額	21,120	157,076	135,956
現金及び現金同等物の 期首残高	1,933,786	1,954,906	21,120
現金及び現金同等物の 期末残高	1,954,906	2,111,983	157,076

●営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前当期純利益	7億98百万円
売上債権の減少	5億60百万円
仕入債務の減少	15億96百万円
減価償却費	2億36百万円
投資事業組合運用益	54百万円
たな卸資産の減少	95百万円
法人税等の支払額	70百万円

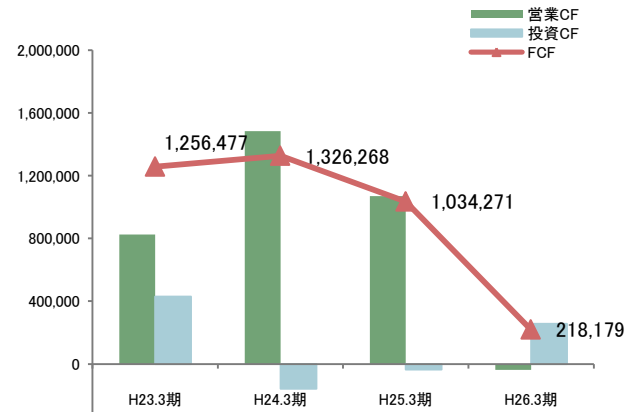
●投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得	44百万円
無形固定資産の取得	14百万円
投資事業組合からの分配による収入	3億3百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー

配当金の支払額	69百万円
---------	-------

連結キャッシュ・フロー推移



(単位:千円)

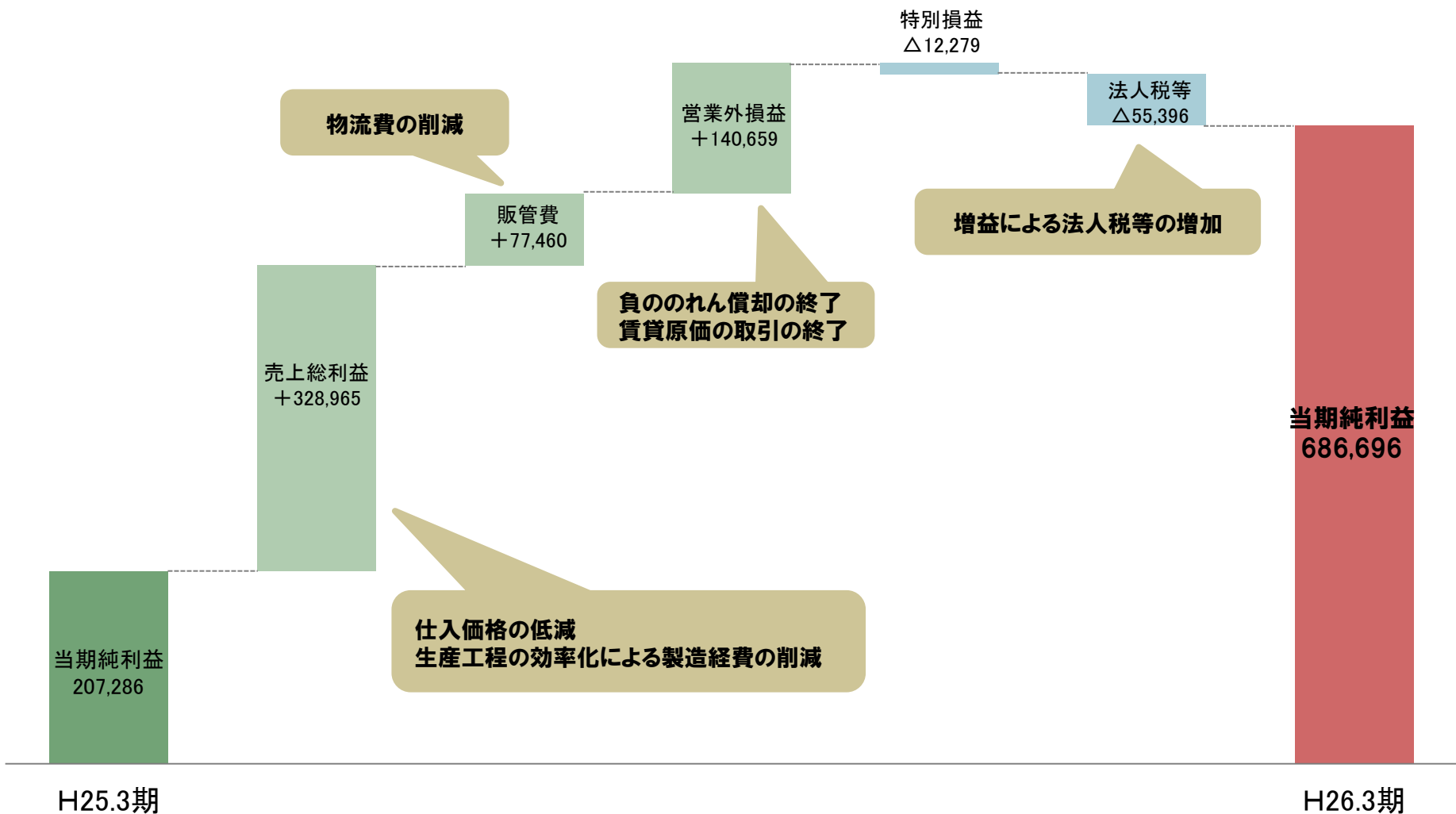
※平成23年3月期は決算期変更により6ヶ月決算となっております。



III. 平成26年3月期 決算詳細



当期純利益増減要因

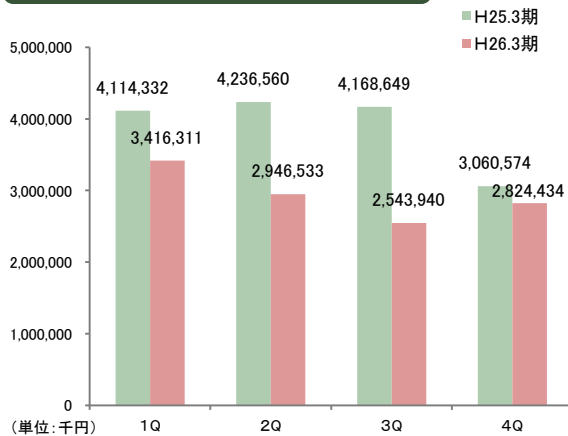


(単位: 千円)

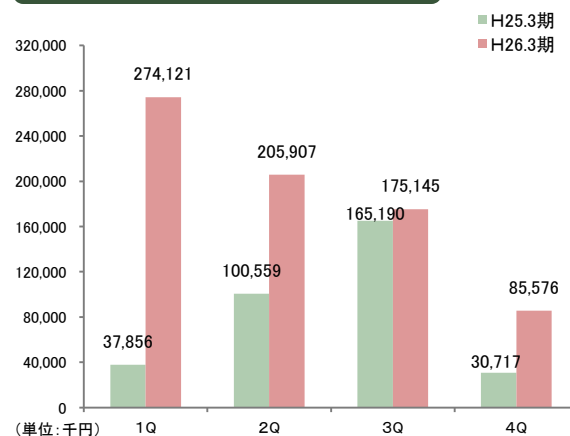
(単位:千円)

	第1四半期	第2四半期	上期		第3四半期	第4四半期	下期		平成26年3月期 通期	
				売上比				売上比		売上比
売上高	3,416,311	2,946,533	6,362,845	100.0%	2,543,940	2,824,434	5,368,374	100.0%	11,731,219	100.0%
売上原価	2,736,191	2,381,274	5,117,466	80.4%	1,997,528	2,289,232	4,286,760	79.9%	9,404,227	80.2%
売上総利益	680,120	565,258	1,245,379	19.6%	546,411	535,201	1,081,613	20.1%	2,326,992	19.8%
販売費及び 一般管理費	405,998	359,351	765,350	12.0%	371,266	449,624	820,891	15.3%	1,586,241	13.5%
営業利益	274,121	205,907	480,028	7.5%	175,145	85,576	260,722	4.9%	740,751	6.3%
経常利益	277,240	257,809	535,049	8.4%	178,229	90,713	268,942	5.0%	803,992	6.9%
当期純利益	192,588	210,298	402,887	6.3%	148,815	134,993	283,809	5.3%	686,696	5.9%

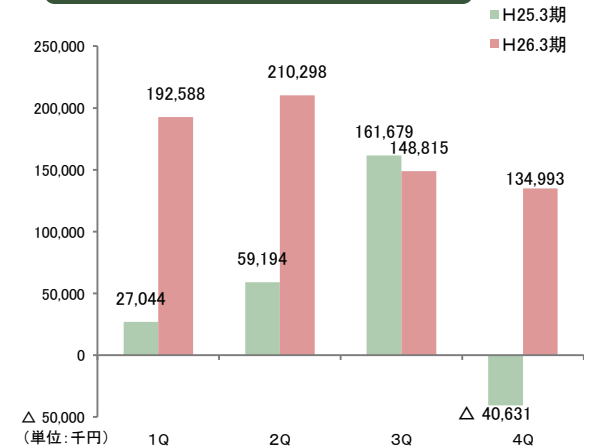
売上高



営業利益



当期純利益



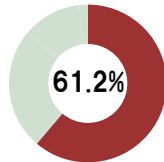
(単位:千円)

	平成25年3月期		平成26年3月期		増減額	増減率
		構成比		構成比		
売上高	15,580,117	100.0%	11,731,219	100.0%	△3,848,897	△24.7%
工業用コーヒー	11,276,439	72.4%	7,177,974	61.2%	△4,098,464	△36.3%
業務用コーヒー	2,771,435	17.8%	2,930,054	25.0%	158,619	5.7%
家庭用コーヒー	1,350,783	8.7%	1,406,595	12.0%	55,811	4.1%
パルプモールド事業	181,458	1.1%	216,595	1.8%	35,136	19.4%

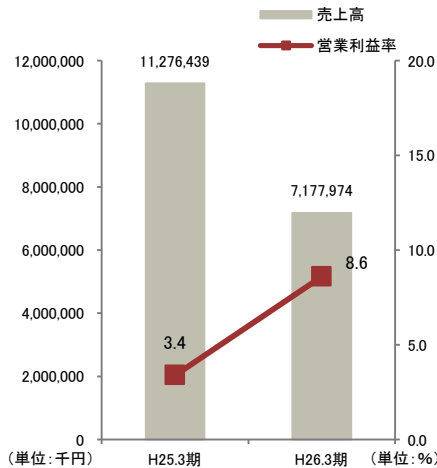
工業用コーヒー

- ▶ 主要取引先における取扱数量が上期好調
- ▶ 3Qで既存品の落ち込み
- ▶ 4Qで新アイテム獲得など取扱数量好転

●売上高構成比



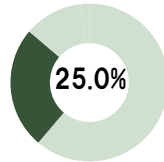
●売上高と営業利益率



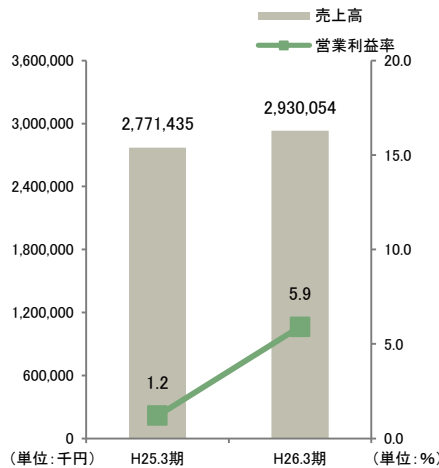
業務用コーヒー

- ▶ 主要取引先のカフェチェーンにおける取扱数量が好調
- ▶ UCCグループ間での取扱数量拡大

●売上高構成比



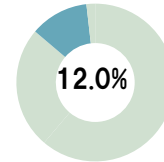
●売上高と営業利益率



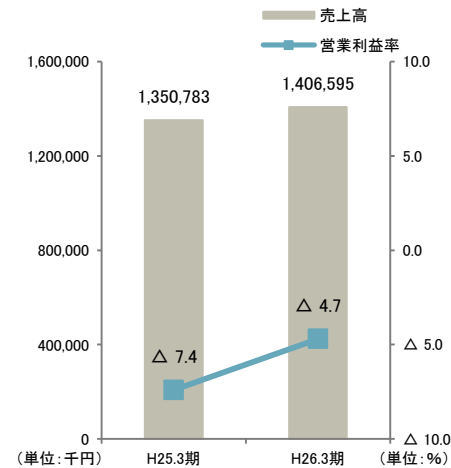
家庭用コーヒー

- ▶ 販売管理体制と営業活動の強化に取り組む
- ▶ 季節商材において苦戦するなど取扱数量の拡大には至らず

●売上高構成比



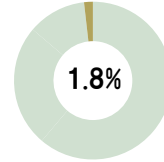
●売上高と営業利益率



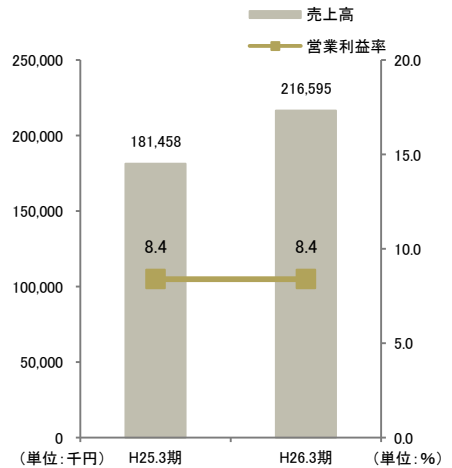
パルプモールド事業

- ▶ 前年より為替相場が円安に推移
- ▶ 人件費の増額及び設備老朽化に伴うメンテナンス費用の増加

●売上高構成比



●売上高と営業利益率





IV. 平成27年3月期の事業計画



事業環境

◆市場動向

- CVSのカウンターコーヒー、サードウェーブ・コーヒー、機能性重視のコーヒー等の新たなコーヒーブームによる飲用の裾野が拡大
- デフレ状況から脱却できないまま、同業各社で長期間に渡る消耗戦が継続
- 消費者志向は節約型・低価格志向型が定着する一方で、郊外型カフェの隆盛で高級志向型も増加傾向にあり、二極化が進む

◆相場

- コーヒー生豆国際相場及び為替相場は引き続き不透明な値動き
- 燃料費に大きな影響を与える国際商品市況においても先行きの不透明感が強い

経営方針

【キーワード】 **T = Transformation(変革)**
I = Innovation(革新)
C = Challenge(挑戦)

◆営業部門

- セグメント別事業戦略の明確化
- 工業用事業と業務用事業の拡大

◆生産部門

- 製造部門とR&D・商品企画部門との有機的結合を図る
- コーヒー製造において「ナンバーワンの製造受託企業になること」を目指す

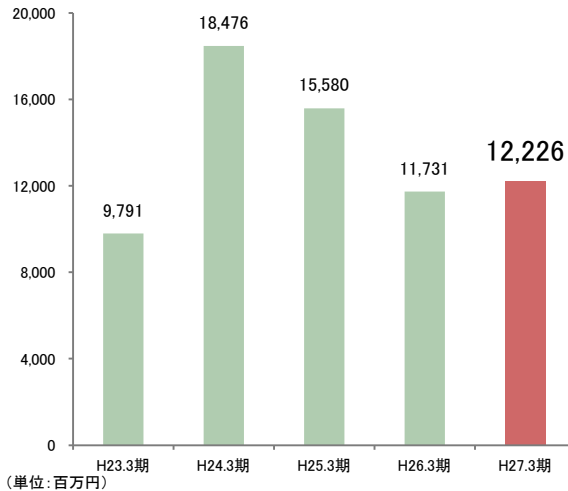
◆管理部門

- 業務活動に関わる法令の網羅性を再確認
- コンプライアンスの徹底による内部統制の強化

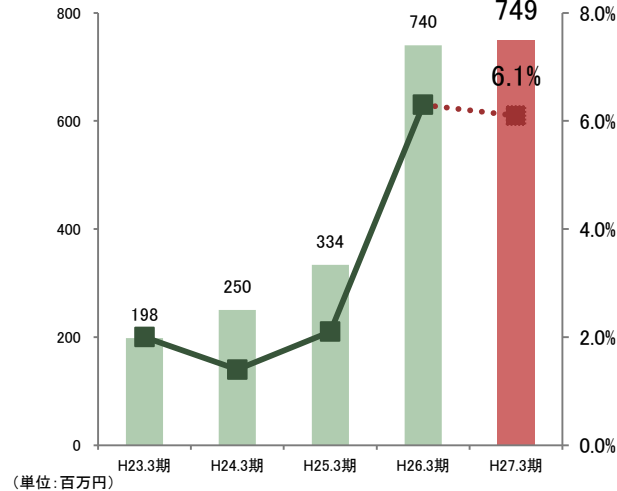
(単位:百万円)

	平成26年3月期 実績		平成27年3月期 計画		増減額	増減率
		売上比		売上比		
売上高	11,731	100.0%	12,226	100.0%	495	4.2%
売上総利益	2,326	19.8%	2,401	19.6%	74	3.2%
営業利益	740	6.3%	749	6.1%	8	1.2%
経常利益	803	6.9%	761	6.2%	△42	△5.3%
当期純利益	686	5.9%	644	5.3%	△42	△6.1%

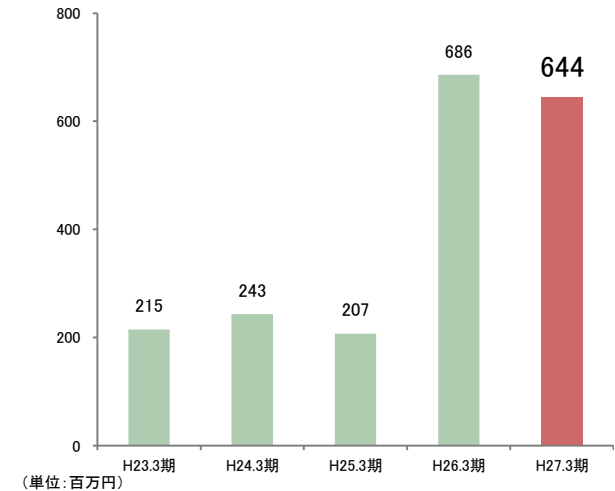
売上高



営業利益と営業利益率



当期純利益



※平成23年3月期は決算期変更により6ヶ月決算となっております。

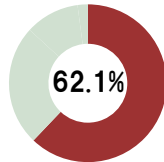
(単位:百万円)

		平成26年3月期		平成27年3月期		増減額	増減率
			構成比		構成比		
売上高		11,731	100.0%	12,226	100.0%	495	4.2%
	工業用コーヒー	7,177	61.2%	7,586	62.1%	408	5.7%
	業務用コーヒー	2,930	25.0%	3,016	24.7%	85	2.9%
	家庭用コーヒー	1,406	12.0%	1,362	11.1%	△44	△3.1%
	パルプモールド事業	216	1.8%	260	2.1%	44	20.5%

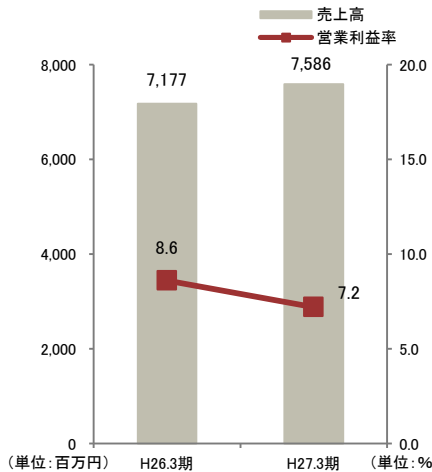
工業用コーヒー

- 提案力強化による収益構造の改善
- アライアンスを構築し、ビジネスモデル革新
- 新たな市場の開拓による取扱数量拡大

●売上高構成比



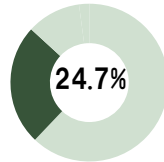
●売上高と営業利益率



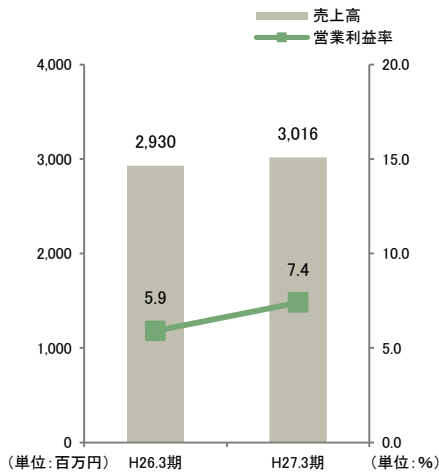
業務用コーヒー

- 外食大手企業、新興カフェチェーン等の新規取引先獲得
- 拡大するシングルサーブ(一杯抽出)事業への取り組み

●売上高構成比



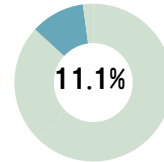
●売上高と営業利益率



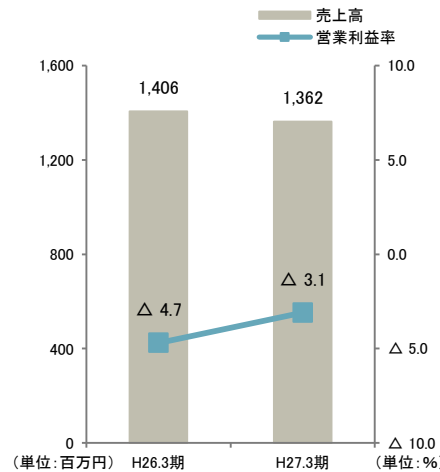
家庭用コーヒー

- PB製品の製造受託に主軸を置く
- 収益力の抜本的改善

●売上高構成比



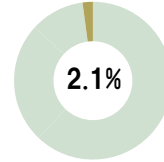
●売上高と営業利益率



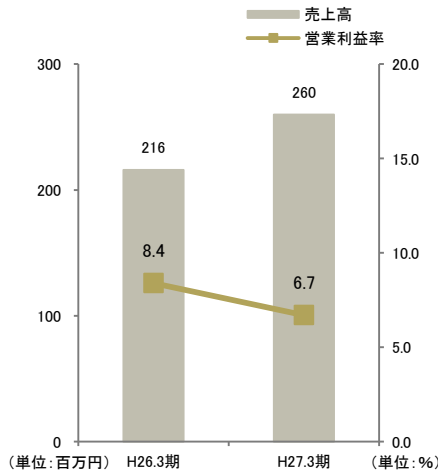
パルプモールド事業

- 売上数量の拡大
- 人件費の増額

●売上高構成比



●売上高と営業利益率



免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社および当社グループの将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社ないし当グループ以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。